



フォレスターうじ 会報

第280号

令和4年6月1日発行
森林ボランティア
フォレスターうじ

ホームページ : <https://forester.foresteruji.org>

五月定例活動

二十五周年記念事業 桜の広場の整備と

トーテムポール材の背割り作業

活動日 五月十五日(日)曇

活動時間 九時半〜十五時

活動場所 天ヶ瀬森林公園

参加者 会員十二名

京都府立大学「森なかま」四名

曇り空、本日の活動は会員に加え京都府立大学森なかまが助っ人参加の合同作業でした。

最初に深田会長の挨拶、木曾事務局長から連絡事項、森なかまの自己紹介、二十五周年記念事業の説明、A班七名B班五名に森なかま四名を加え十六名の出席点呼の後、「みどりの安全十ヶ条」を唱和し、今日の作業予定の野鳥小屋下付近の山道の階段設置と周辺整備に十二名とトーテムポールの制作準備に四名とグループ分けをして、ラジオ体操を行いました。

ヘルメットを着用し作業準備を終え使用工具をそれぞれが手に現場へと出発した階段グループは、途中の京都大作戦の森で防鹿網の点検したところ、網には異常はありませんでしたが、二月に仮植えた苗木の枝が折れ、若葉が食べられているように無くなり、小さな丸い糞が散乱している個所があることから、鹿が網を飛び越え出入りしていると思われる。

作業現場に到着、山道の階段設置作業の付近では、前回の作業で徐伐された樹木を横木と立て杭として利用し、森なかまの力も借りて一段ずつツルハシで溝を掘り、カケヤで杭を打ち込み横木をカスガイで固定し、スコップで盛土して固める作業をして階段を六段設置しました。次に、林副会長がチェーンソーで切り株の加

工、他の会員は残りの徐伐作業、手鋸での枝打ち、鎌での下草処理をしました。お昼ごはんを食べてからも忙しく予定していた作業が終える頃には周囲も歩きやすく景観が良くなり、とてもやりがいがありました。

フォレスターうじ広場ではトーテムポール材の背割り作業も順調に終了していました。

終礼では森なかまから感想を聴いて参加を労い、小林副会長の挨拶で本日の活動を終わりました。曇り空で暑くもなく作業をするには良い日和でした。

(記 上田 匡慶)



5/15 左：階段6段完成 右：階段設置作業中 写真 水野民雄

エッセイ

感想(フォレスターうじの定例活動・)

山道の階段作りに参加して)

京都府立大学 森林ボランティア森なかま

高野 龍也 南條 絢音

野田 純花 山本 晴登

今回の活動を通して森林での作業には公園整備のような土木系の作業があることを知り、その一部を知ることができました。実際に現場に行き土木作業を行うということで、林業を目指していると通して山道にある階段がどのように作られるのかを知れたのも良かったです。

土木作業は体力が必要で危険なイメージでしたが、フォレスターうじの皆さんの的確なアドバイスや丁寧な指導のおかげで楽しく安全に作業できました。実際に作業してみても、横木や足場の土などほとんど自然の物だけを材とし、大きく周囲を破壊することもなく簡単だったので、環境に優しいなと思いました。こうして作った階段は、数年後には腐ってまた作り直さなければなりません、腐った材は土に還り、周りの木を利用して新たな材を得るサイクルは、持続可能だと教えていただいたのが印象的でした。

作業の合間に木を切り倒す体験もしましたが、ノコギリを水平に保って切ることが意外に難しかったです。細い木を切り倒すだけでも周囲の日当たりが大きく変わったことには驚きました。

普段は何気なく登っている階段ですが、それを作る側に立てたことは非常に面白かったです。土木作業や公園整備は、普段のサークル活動や大学の授業では体験できないので、大変貴重で新鮮な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

四月特別活動

宇治市主催緑のウォークラリーに協力

活動日 四月二十九日(金) 雨

活動時間 九時～十三時

活動場所 宇治市植物公園緑の館前芝生広場

参加者 会員十一名 農林茶業課二名

来場者

木工体験 子供十六名
丸太切り体験 子供六名 大人三名

備品等運搬の先発隊は八時から搬入し、ほぼ会場設営をも済ませた。九時に朝礼、受付、木工体験、丸太切り体験、作品販売そして小枝の椅子の制作実演にそれぞれ分かれて担当することにした。

予定では十時開始だったが、天気が不安定なので九時過ぎから木工体験を始めた。電話での問い合わせ「木工は何を作るの?」と市民からあったと植物公園の職員から連絡があり、楽しみにしてくれている子供たちがいると思うと嬉しくなった。

雨にもかかわらず一直線に本会のブースに駆け寄り、「木工をやりたい」、「丸太切りをしたい」という子供たち。そんな子供たちを見ると色々とおまけを上げたい気持ちになった。しかし、やはり本降りの雨には勝てず予定より一時間半早く活動を切り上げた。

結果、来場者は右のとおりで作品販売と木工体験は合わせて三二〇〇円、緑の募金は八八二円だった。時折強い雨が降り肌寒く来場者も少なかったが、ゆっくと楽しんでもらったので良かったと思う。

(記 木曾 宗統)



4/29 木工体験でトンボ作りをする姉妹

エッセイ

鹿の食害

林 幸広

今年の四月は天候が良く、一週間以上雨の降らない日が続いたことがある。今年の二月に仮植えた苗木には厳しい環境なので、水やりに出向いた。

そこで見たのは無残にも若葉を食われ、枝先が折れた痛々しい苗木だった。クリは芽を摘み取ったようにかじられており、数年前に植えたクヌギなども、若葉を食べられ枝が折れていた。昨年植えた桜二本とクリ二本は枯れているようだった。辺りには真新しい鹿の糞がころがっていた。京都大作戦の森は高さ二mのネットでも囲まれており、ネット下はまくられないよう保護してある。破られたところもなく、どこからかネットを飛び越えたところも考えられない。

インターネットで調べると、鹿のジャンプ力は助走なしでも一・五m、助走できれば二mは飛び越えるそうだ。防鹿柵を検索してみると、場所によっては二mでは足りないの長い杭を追加してネットを張るそうだ。二m以上の長い杭は簡単には調達して持ち込めないの、何か対策できないか考えた。とりあえず、苗木は草刈りで刈り取ったトゲのある枝(クマイチゴ?)で囲うようにした。助走路を塞ぐために南側は間伐した枝を撒いてみた。北側は、ソヨゴを切り倒して空き地を塞ぐようにした。

その後は見に行っていないが、なんとか持ちこたえて欲しいと願っている。暫定策なので、今後のしっかりとした対策を検討しなければならぬ。鹿の助走路を徹底してなくしていく方向で検討する予定。

森林ボランティアフォレストアージュ事務局

宇治市折居台二丁目一五 木曾宗統 方

TEL 〇九〇—九二七〇—〇七六三



5/15 トーテムポール材の背割り
写真 新宮邦春

今後の活動・行事の案内

七月定例活動

七月十七日(日) 天ヶ瀬森林公園

・二十五周年記念事業の実施

フォレストアージュからのお知らせ

天ヶ瀬森林公園で、森林での活動を通じてその楽しさを一緒に味わってみませんか? 新しい仲間を募集中、先ずは一日体験から参加して下さい。

入会金 千円 年会費 二千円

活動日 毎月第三日曜日

活動場所 天ヶ瀬森林公園

編集後記

二十五周年記念事業、まずは桜の広場の整備から順調に開始できた。今年一年間の活動が楽しみである。

(会報担当 木曾 宗統)
(写真担当 田中 一夫)



5/15 階段設置が
終わりひと休み
写真 林幸広